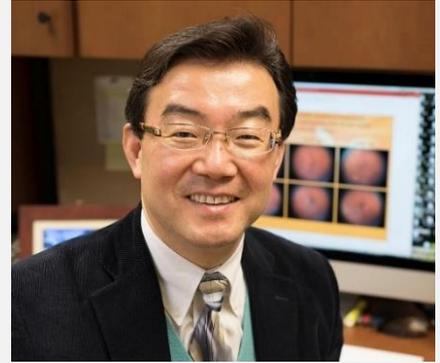


国際的なリーダーとして これからの日本のサイエンスを 支えていくために重要なことはなにか

今井 眞一郎 教授
Shin-ichiro Imai, M.D., Ph.D.



M. and T. Tanaka Family Distinguished Professor
in Aging Research, Department of Developmental
Biology, Department of Medicine (Joint)
Washington University School of Medicine

日時：2022年11月9日(水) 17:00～18:00

場所：第一講義室（ZOOMハイブリッド開催）

Zoom QRコード

ミーティングID：947 5890 1806

パスコード：650998



<https://zoom.us/j/94758901806?pwd=VFJYcGNqaWMxT3gyUzRHSnRqZWQ3QT09>

今井眞一郎先生は 医学部生時代から細胞の老化をテーマに研究を開始し、1989年に慶應義塾大学卒業、同大学院での学位取得後も老化研究を続けました。97年渡米、マサチューセッツ工科大学の Leonard Guarente 教授と共に SIR2 蛋白質（サーチュイン）が NAD⁺依存性脱アセチル化酵素として老化・寿命の制御に重要であることを初めて発見 (Imai S et al. Nature 2000)。01年よりワシントン大学にて独立し13年より現職。死ぬ直前まで健康を保って人生を楽しみ、生産性を維持し社会に貢献し続けながら年齢を重ねることを示す“プロダクティブ・エイジング”を目指した**抗老化研究を推進する世界的に注目される第一人者**です。今回は、これまで20年以上にわたって米国で最先端のラボを運営し、競争の激しい研究領域で国際的なリーダーシップを発揮し続けている経験を余すところなくお話し頂きます。

(本セミナーはどなたでも参加自由なセミナーです。留学選抜などにて考慮されるグローバルポイント対象セミナーです)

連絡先：G-MedEx(内線 2063) / 新潟大学医学部 国際交流戦略委員会(担当芝田)